



# 決算説明会資料 添削サービス

御社の決算説明会資料をアナリスト2名がチェック、直接赤ペンでコメントを加筆します。

通常、決算説明会での参加者からのアンケートやフィードバックでは、なかなか知ることができない決算説明会資料の改善点を企業価値向上の観点からプロのアナリストが評価。改善に向けて添削します。

また、その他にも、独自のフレームワークを基に御社の決算説明会資料を分析、評価を数値化し、コメントするサービス(定量分析サービス)、御社の企業価値分析からコーポレートストーリーを構築し、資料として形にするサービス(新規作成サービス)もご用意しています。

※本サービスは、株式会社バリュークリエイトと共同開発したものです。

## □決算説明会資料の個別ページ添削に総評を加えてご提供

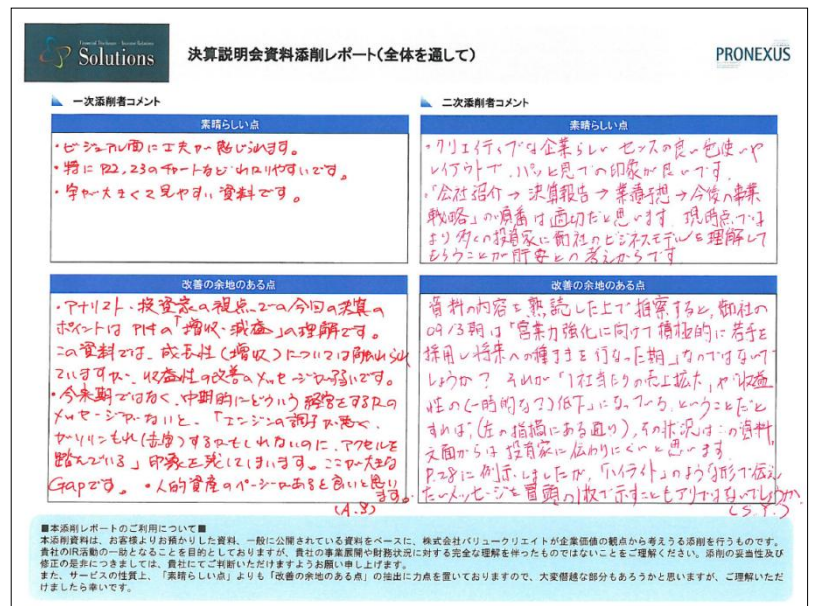
### ●添削レポート総評

決算説明会資料添削の結果、素晴らしい点、改善の余地がある点について一次・二次チェック者がそれぞれ総合的なコメントを付加します。

#### ■チェックの観点

- ・企業価値のフレームワークに合った価値創造の道筋が説明されているか。
- ・時間軸が短すぎたり、見えない資産を伝えていなかったりしていないか。
- ・経営指標や財務データなど、アナリストや投資家が求めるものを理解して、開示しているか。
- ・棒グラフ、円グラフ、パイチャートなど図表の作り方が適切か。など。

イメージ



### ●個別ページ添削

決算説明会資料の全ページにわたり、貴社の企業価値を的確に伝えるための添削コメントを付加します。

イメージ

財務ハイライト 前期比

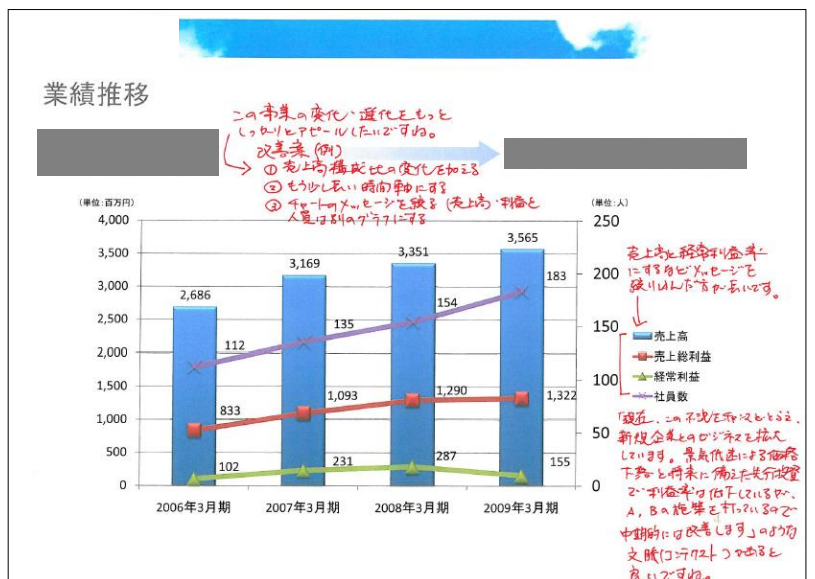
2008年3月期実績 2009年3月期実績 増減額 増減率

売上高	3,351	3,565	+214	+6.4%
営業利益	319	166	△153	△48.0%
経常利益	287	155	△132	△46.0%
当期純利益	159	74	△84	△53.0%

＜百万円＞

業績価値は過去4~5年程豊か一覽に2.7あると、当該期の水準がどの位置にあるかの理解の助けになります。

イメージ



### ●サービスの条件

- チェック対象：すでに発表済みのIR説明会資料
- リードタイム：依頼から中5営業日

### ●料金

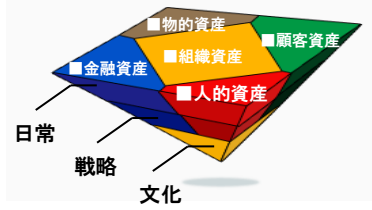
■ 1回 150,000円(税抜)

その他メニュー

決算説明会資料 定量分析サービス

□御社の決算説明会資料を企業価値向上の視点から分析、結果をレポート

■5つの資産



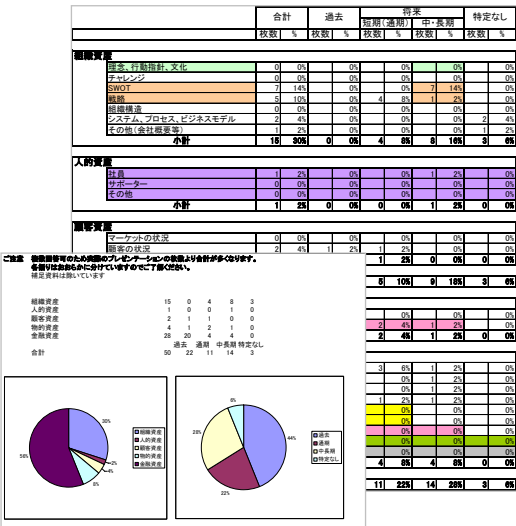
●「5つの資産」を軸に記載のコンテンツを定量分析

組織資産、人的資産、顧客資産という「見えない資産」と物的資産、金融資産という財務諸表に載る5つの資産について、御社の決算説明会資料の各ページがそれぞれどの資産について説明しているかを分類し、足りない部分についてアドバイスします。

●レポートイメージ

■定量分析(数値化)

- 資料の構成内容の比率を算出
- グラフ化し、現状分析



■コメント(素晴らしい点)

- 構成上、良い部分についてコメント

**素晴らしい点**  
 ・企業価値の算定は将来のフリーキャッシュフローをベースにされますが、その大きな要因は売上の成長率と営業利益率になります。よって過去3年の売上成長率が27%というのは素晴らしい成長率だと思います。ただ中期で開示されている将来の成長率が11%程度と10%以下下がっています。これは保守的に計画を立てているのかそれともそれ以外の要因なのかを知りたいところです。  
 ・営業利益率も企業価値算定上大きな因子となります。過去4年の推移を見ますと、6%から7.6%とおおらかに改善されているのでこれも良いです。さらに、中期では7.8→7.9→8.2%とさらに改善していく方向性も素晴らしいです。成長性と収益性のバランスをどのように両立していくかは企業価値をかんがえる上で大切なポイントですのでぜひこれからも両立を目指してください。  
 ・中期経営計画で強みを説明しているのは良いです。さらにこの強みをどのように伸ばしていくのか、その数値的な基準と将来的な今後の取り組みまで踏み込めるとさらに良いと思います。

■コメント(改善すべき点)

- 構成上、さらに改善すべき部分についてコメント

**さらに改善できると思われる点**  
 ・御社は、B/SとC/Fの情報を説明会で説明した方が良いでしょう。特にキャッシュを36億円持っていますが、これは企業価値上大きなリスクとなっています。時価総額が約30億円で、それ以上のキャッシュを持っているのはとても買収されるリスクが潜在的に大きいことを意味しています。この点に気を配る必要があります。  
 ・強みの中で人材について触れながらも、他のところではまったく人的資産についての記述がありません。企業価値の中では人材の採用、教育、リーダーの数は見えない部分ではありますが、もし御社が社員を大切にしているのであれば、1枚ぐらい取り組みを載せるのが良いです。  
 ・企業価値の多くの部分で中長期的な部分です。するのかが知りたいと開示されています。保有台数に占める将来3%あるいは5%さらには...  
 ・将来どこに投資をしていくのかはキャッシュの使い方と合わせて、関心のあるところですか。ぜひ投資についての将来の方向性を載せてほしいです。  
 ・今後も10億円以上のキャッシュが毎年積みあがってくるとなると、そのキャッシュをどのように使っていくのか？が大切なポイントとなります。配当等を含めた資本政策について考えるべきです。状況によっては、自社株買いなども一つの重要な選択になります。  
 ・御社のビジネスは直近のROIC(23%)、ROE(18%)ととても資本効率の高い会社です。資本市場の観点から言って効率性が高いのはぜひアピールすべき点です。将来的には効率性を維持できるのかそれとも下がっていくのかも重要ですのでこの部分を意識しておくよと思います。  
 ・御社の業界の競合他社との関係性がわかる図が1枚あるとさらに御社のよさが伝わると思います。

●サービスの条件

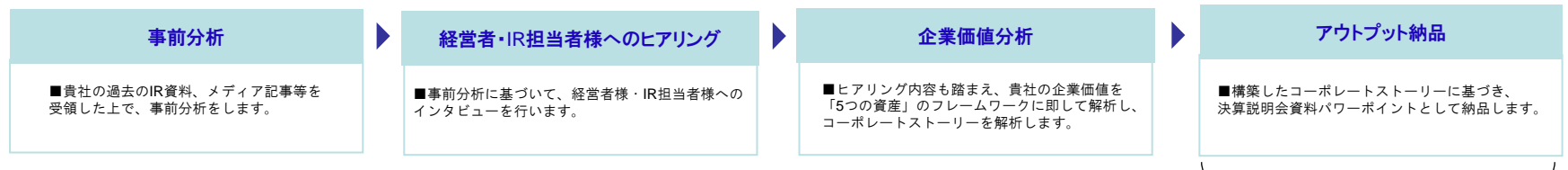
- チェック対象：すでに発表済みのIR説明会資料
- リードタイム：依頼から中2営業日

●料金

- 1 資料分析につき 50,000円 (税抜)

決算説明会資料 新規作成サービス

□御社の決算説明会資料を企業価値に基づいたストーリー仕立てで作成



●サービスの条件

- リードタイム：経営者様へのインタビューから1ヶ月

●料金

- デザイン処理なし 1,000,000円 (税抜)
- デザイン処理あり 1,200,000円 (税抜)

アウトプット納品は、  
 ①デザイン処理されていないパワーポイント素材  
 ②デザイン処理されたパワーポイント完成品  
 の2種から選択いただくことが可能です。

パートナーの紹介(株式会社バリュークリエイト)

創業時のベンチャー企業から従業員1万人以上のグローバル企業まで、企業の規模、業種、業態を問わず企業価値の視点を提供。主な事業は、企業価値創造の経営アドバイス、IRアドバイス、次世代の経営者の育成、価値創造の視点の研修。

「アナリスト紹介」

- ◆佐藤 明 (さとう あきら) → 1987年野村證券グループ入社。日経金融新聞アナリストランキングでは、企業総合部門で95年第1位、94年～00年同造船・プラント部門7年連続第1位。2001年にバリュークリエイト設立。JASDAQ上場会社社外監査役。
- ◆三富 正博 (みとみ まさひろ) → 1987年、アーサー・アンダーセン東京事務所に入所。米国3拠点9年間での経験を経て、2001年にバリュークリエイト設立。慶應義塾大学ビジネススクール非常勤講師。日本および米国公認会計士。
- ◆乗富 和子 (のりとも かずこ) → 1974年東京銀行入行。その後、米国運用会社ファンドマネージャーや国内外証券会社調査部を数社経験。
- ◆山岡 三四郎 (やまおか さんしろう) → 1990年日本興業銀行入行。系列運用会社に出向後、米国大手運用会社キャピタルグループアナリスト。

問い合わせ先

105-0022 東京都港区海岸1丁目2-20 汐留ビルディング5階  
 株式会社プロネクサス IR推進部 tel 03-5777-3601

